

未来を担う
子どもたちのために

津市長 前葉 泰幸



明けましておめでとうございます。

昨秋オープンしたサオリーナは開業1カ月で来場者が4万人を超えるにぎわいを見せ、明るいニュースで昨年を締めくくってくれました。市町村合併に伴う最後のビッグプロジェクト「(仮称)久居ホール」も着工の運びとなり、津市政は28万市民のくらしの充実に向け、次なる展開を図る時期を迎えています。

平成30年の新春に当たり、まずは、未来を担う子どもたちのための施策にさらに注力していくことをお約束します。

小中学校においては、学校施設と設備の整備を迅速に進め教育環境を整えます。

公立小中学校の校舎は、その多くが高度成長期に建築され、一斉に老朽化が進んできています。快適な学校生活を送れるよう大規模改修をさらに加速させます。補助金や合併特例債の活用が必須となるため、国への働き掛けを強めるなど費用面においてもあらゆる対策を講じてまいります。普通教室へのエアコンの設置については、昨年の中学校に続き、今年は小学校への取り付けを開始します。

学校個別の懸案にも迅速に対応します。昭和50年の開校以来、学級数が増え続けてきた西が丘小学校においては、平成28年度に校舎増築によるプ

レハブ校舎を解消し、29年度は運動場の擁壁を改修、30年度からは校舎の大規模改修を行います。大里小学校では、長年、降雨後のグラウンドの水たまり除去に大変な労力を掛けていました。このたび運動場に筒状の排水路を整備したことで水はけが劇的に改善し、昨年秋の運動会は明け方までの降雨にもかかわらず支障なく実施できたと喜んでいただきました。芸濃中学校では、昨年の地域懇談会でテニスコートの人工芝の経年劣化によるはがれのご指摘があり、生徒のけが防止のため、すぐに整備に取り掛かりました。

教育内容の充実を図る取り組みも積極的に展開していきます。平成32年度から小学校で実施される新しい学習指導要領では、中学年から外国語学習が導入され、高学年では教科化されます。県内初の義務教育学校として昨春開校したみさとの丘学園においては、他校に先駆けて、英語の時間を小学3・4年生で週1時間に、小学5・6年生で週2時間に増やしています。津市の全小学校においても、30年度から2年前倒しで英語教育を先行実施します。

保育と幼児教育においては、先駆的な取り組みを進めます。この春、神戸(津みどりの森)、白山、香良洲で津市立のこども園を初めて開園します。さらに、一志は31年度、芸濃は32年度の開園を目指し、それぞれ準備を進めています。津市立の最初の保育園は大正13年に、最初の幼稚園は昭和2年に開園しました。以来、90年にわたり培ってきた保育と幼児教育の伝統を生かし、質の高いこども園を作り上げ経営してまいります。

子どもたちは宝です。健やかな成長を願って、今後も子ども施策の一層の充実を図ってまいります。

「TV版市長コラム」では、前葉市長がこのテーマについて語ります



津市長コラム

検索

市長の活動日記から

✓平成29年度津市総合防災訓練(美里グラウンド、みさとの丘学園)…11月12日



土砂災害を想定し、「ドローン」「水陸両用バギー」を活用した孤立集落への対応訓練を実施。昨今の多様化する災害に備え、防災力向上を目指します。

✓外国人集住都市会議 津会議2017 (津センターパレス)…11月20日

全国22市町で構成する外国人集住都市会議を座長として津市で初開催。外国人の日本語教育・雇用環境の向上を目指す「津宣言」を採択しました。



✓市町村職員中央研修所(市町村アカデミー)「組織マネジメント研修」(同所)…11月21日



全国各市町村の課長級職員を対象に、「市民の声からの政策形成」と題して津市の事例を挙げながら、管理職に期待される役割について講義しました。

「市長活動日記」は津市ホームページでご覧になれます

津市長活動日記

検索